

対象年度	平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート						
事務事業名	小山地区定住自立圏の形成						予算事業名	企画調整事務経費	
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	
			02	01	07	0501	経常経費		
総合計画体系	5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営)						事業の区分	主要事業	
	5-2自立した行政経営の確立(行財政運営・広域連携)								
	④広域連携の推進						担当課係等	企画政策課	
2定住自立圏の推進						企画調整係			
事業期間	継続(年度～平成32年度)								
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】			
小山市を中心に、圏域を構成する自治体が連携事業を展開することで、魅力ある圏域を形成する。住民が、住みたい・住み続けたいと感じる地域をつくることで、都市部への人口流出を食い止め、定住促進を目指す。						<ul style="list-style-type: none"> 制度創設以来、小山市は中心市宣言を進めていた 平成26年10月小山市と友好都市盟約を締結 			
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】			
平成28年4月 圏域形成に関する協定締結 平成28年10月 共生ビジョン策定 平成29年10月 共生ビジョン改訂 ⇒共生ビジョンに基づく連携事業の実施						<ul style="list-style-type: none"> 圏域の住民 構成自治体 			
						【事業をとりまく環境の変化】			
						<ul style="list-style-type: none"> 平成27年6月に小山市が「小山地区定住自立圏構想」(小山市・結城市・下野市・野木町)の中心市宣言を行った。 平成28年4月に小山市と各市町が「定住自立圏の形成に関する協定」に締結した。 			
【平成31年度 事業内容】			【平成32年度 事業内容】			【平成33年度 事業内容】			
共生ビジョン改訂			共生ビジョン改訂 第2次共生ビジョン策定			第2次共生ビジョン開始			

■事業費

		H29年度		H30年度			
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金		0		0		
	県 支 出 金		0		0		
	地 方 債 債		0		0		
	そ の 他		0		0		
	一 般 財 源		0		0		
	歳 入 計 (千 円)		0		0		
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)	金額 (千円)	金額 (千円)				
	歳 出 計 (千 円) (A)	0	0				
備 考	伸 び 率 (%)						
	総合計画139ページ	予算書	ページ				

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位	H29年度	H30年度	H31年度
活動指標	共生ビジョン懇談会	回	目標 1.00	1.00	1.00
			実績 1.00	0.00	0.00
			目標 0.00	0.00	0.00
			実績 0.00	0.00	0.00
成果指標	連携事業数（圏域全体）	事業	目標 51.00	51.00	51.00
			実績 51.00	0.00	0.00
			目標 0.00	0.00	0.00
			実績 0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	人口減少が進むなかで、定住策は重要であるため
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政が主体となる制度である
	手段の妥当性	A 妥当である	定住自立圏構想推進要綱に基づき進めている
効率性	コストの効率性 ・人員効率	B どちらとも言えない	全体の調整について、柔軟な対応が必要であるため
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	圏域全体が受益者である
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	県外自治体との連携のため、行政手法をすり合わせる必要がある
進捗度	事業の進捗	A 順調である	共生ビジョンに基づき具体的な取組を推進する

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

今後の自治体を取り巻く状況を考慮すると、すべての事業を単独で進めていくことは難しいと考える。広域での進め方が効果的である事業については、定住自立圏の中で連携を進めていく。

対応策提言等	この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか 構成市町が連携を密にし、相互に効果がある事業を展開していく。
--------	---

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開
<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
改革・改善の具体的な内容（改革案・実行計画）
単独自治体では難しい課題解決について、近隣自治体と連携して取組むことは有効である。毎年、共生ビジョンの見直しを行いながら、圏域の魅力向上を目指していく。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開
<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）
上記評価のとおり。